

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

延岡市長 読谷山 洋司

市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	下祝子地区 (富美山集落、柚木集落、宇和田集落、祝子1集落、祝子2集落、尾崎集落、夏田集落、佐野集落、中川原・山月集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月20日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は担い手となる農業者の高齢化が進み、今後、遊休農地の増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進める必要がある。このため、分散する担い手の農地の集約化や効率的な農業経営の確立、高収益作物への取り組み等を検討していく。また、大型農業機械を活用した大規模経営の展開を図るため、狭小農地の大区画化や道路の拡幅等により、農地の条件整備に取り組む必要がある。

【地域の基礎的データ】

担い手となる農業者16人（平均年齢65歳／うち50歳代以下5人）、団体経営体（法人）2経営体、従業員等7人

主な作物：水稻、きゅうり、大葉、白ネギ、じゃがいも

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の主要農産物である水稻について、地域全体で段階的に農地の集積・集約化を進め、担い手の経営効率化を図る。坂宮集落については、利水条件が良好であるため、条件整備し、芋やスイカ、トマト等のハウス団地の新設を検討する。また、外国人材を含め地域内外から農地利用者の確保に努め、遊休農地の発生防止に努める。加えて、担い手への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再分配を進めることができるように地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	88.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	88.4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地に限らず、周辺の農地についても可能な限り農地利用する。住宅地や林地等との間にある農地は基本的に保全・管理を行い、遊休農地の発生防止に努める。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>農地中間管理機構を活用し、担い手への農地の集積、集約化を加速する。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>地域全体で機構を介した権利設定に取り組み、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。また、令和6年度以降に集中的に農地中間管理事業に取り組み、地域集積協力金の獲得を目指す。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>農業の生産効率の向上や農地の集積・集約化を図るため、補助事業を活用して地区内農地の大区画化や暗渠排水、農道整備等の基盤整備に取り組む計画を立てる。また、整備計画の策定にあたっては、行政や延岡市土地改良区と連携して効果的な施工計画を立て、地元負担の軽減に努める。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>行政やJAと協力し、地区内外から多様な経営体の確保に取り組む。新規就農者に対しては、栽培技術の支援や農地の斡旋をはじめ、補助事業の活用についての助言等、相談から定着まで地域ぐるみでサポートする。入り作農家については、農業機械の共同利用や経営農地の集約を意識した農地利用への誘導等により効率的な農業経営ができるように連携体制の構築を図る。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>稲作に係る一連の作業について、必要に応じて(株)川原農園に委託する。但し、防除作業については、(株)スカイサービスに委託し、地域内で農作業の効率化を図ることで遊休農地の発生防止に努める。</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①国庫補助事業や地域集積協力金等を活用し、ワイヤーメッシュ等の効果的な鳥獣被害対策を自力施工する。